

全体会・高橋ヨシエ先生の講演、大好評！

参加者、300名を突破！ (15:00現在)

三多摩研究集会史上2度目、昨年に続き300名を突破しました。

15:00現在で、309名の参加者となりました。地元・多摩市の方々をはじめ、各地域からの参加をありがとうございました！

午前中の高橋先生の講演は大好評でした。午前中で帰られた方のアンケートです。

実体験を踏まえたお話だったので、指導員経験の浅い私にはぐっとくるものがありました。これから私も色々な体験があるんだろうな、と楽しみと責任をあらためて感じています。
(西東京市・指導員)

熱意ある指導員先生方のおかげで今の学童クラブがあるんだな、と思います。今日のお話で、親の父母会での活動は指導員先生や学童クラブをサポートする上でとても大切な役なんだとわかりました。今年度で学童を卒所しますが、これからも何らかの形で協力していきたいです。
(府中市・親)

午後の分科会の一例を紹介します。

第5分科会(民間委託)：まず助言者から指定管理者制度の概要説明をしてもらい、続いて実際に民間委託している墨田区の報告がありました。参加者からは、いつ自分の自治体の学童に民間委託が導入されるか、という不安の声が上がり、真剣な議論が続いています。

第6分科会(運営基準)：劣悪な条件になりつつある学童現場から来たという指導員から、運営基準を作らなくては良くなならない!、という切実な意見が出ました。全国に先駆けて策定された埼玉県の最低基準も学んでいます。

保育室から：とても天気が良かったので、校庭に出て30人で楽しく宝探しをしました。小さな子ども達も燃えましたよ！

第9分科会(子どもの心によりそって)：6グループにわかれ、指導員と保護者の枠をはずしフランクな話し合いを始めました。笑い声が多いです。

今日は、どうもありがとうございました。不手際もあったかと思いますが、来年もよろしくお祈いします。第18回三多摩研究集会で、またお会いしましょう。

全国の保護者や指導員の悩みや実践、意見が満載の「日本の学童ほいく」誌をぜひご購読して下さい！